

会 告

◀ 土木学会・その他行事案内 ▶

月 日	行 事	備 考
9月17日(木)	クイ打ち作業標準説明会(札幌会場)	8号 6ページ参照
9月19日(土)	化学技術賞募集締切	9号 7 "
9月25日(金)	中部支部技術講座開催	9号 9 "
9月28日(月)	日本工学会講演会	9号 4 "
9月29日(火)	クイ打ち作業標準説明会(名古屋会場)	8号 6 "
9月30日(水)	第11回橋梁・構造工学研究発表会原稿締切	9号 5 "
9月30日(水)	国土開発映画コンクール作品募集締切	9号 綴込
9月30日(水)	第1回衛生工学講演討論会原稿締切	9号 1 "
10月1日(木)～2日(金)	秋季見学会(北海道支部)	9号 8 "
10月1日(木)～4日(日)	第13回レオロジー討論会	9号 8 "
10月5日(月)～6日(火)	第7回地震工学研究発表会	9号 2 "
10月6日(火)	東海道新幹線と土木技術講演会	9号 綴込
10月9日(金)	奈良県における総合開発の諸問題についての講演会	9号 10 "
10月15日(木)	中部支部研究発表会	9号 9 "
10月15日(火)	創立50周年記念特集号懸賞論文締切	9号 綴込
10月20日(火)	第9回水理講演会講演申込締切	9号 5 "
10月20日(火)	日本工学会第10回見学会	9号 4 "
10月20日(火)	大河内賞募集締切	9号 7 "
10月27日(火)～31日(土)	第7回標準化全国大会	7号 7 "
11月6日(金)	土木学会創立50周年記念式典・祝賀会	} 9号 綴込
7日(土)	" 記念講演会	
8日(日)～10日(火)	" 見学会	
11月11日(水)～12日(木)	岩の力学国内シンポジウム	9号 3 "
11月15日(日)	関西支部年次学術講演会	8号 10 "
11月16日(月)～19日(木)	第6回アイソトープ会議	5号 5 "
11月25日(水)～27日(金)	第11回海岸工学講演会	9号 5 "
11月26日(木)	日本A.C.I.構造用軽量コンクリートシンポジウム	9号 6 "
11月30日(月)	研究発表会論文締切(北海道支部)	9号 8 "

第1回衛生工学講演討論会開催

土木学会衛生工学委員会では、本年度より毎年一定のテーマを決めて講演討論会を開催することになり、本年度は、下記のとおり開催いたしますので、多数ご参加下さい。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1964年11月中旬
3. 会 場：東 京
4. 論文内容：下水の生物処理(汚泥をふくむ)に関する研究
5. 講演原稿：講演をお申込みになった方は9月30日までに400字詰原稿用紙20枚以内(図、表を含む、写真は印刷不能)にご執筆のうえご提出下さい。
6. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。
7. 懇 親 会：当日講演討論会終了後、懇親会を開催いたします(会費500円)。
〔注〕講演申込みは8月15日(土)で締切りましたのでご了承下さい。

第7回地震工学研究発表会開催について

下記により標記の研究発表会を開催いたしますから、ふるってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日：1964年10月5日(月)、6日(火)

2. 会 場：土木学会会議室

3. 講演題目：

第1日10月5日(月)

○印は講演者

- | | | | |
|-------------|----------------------------------|----------------|----------------------------------|
| 9.30~9.40 | 開会挨拶 | 土木学会耐震工学委員会委員長 | 那須信治 |
| 9.40~10.05 | (1) 振動記録処理装置について | 運輸省港湾技研 | 林 聡・○宮島信雄・山田進一郎 |
| 10.05~10.30 | (2) 可動壁に作用する振動圧力について | 山口大学 | 大原資生 |
| 10.30~10.45 | (1)~(2) 討 議 | | |
| 10.45~12.00 | (特別講演) 新潟地震について | 東京大学 | 笠原慶一 |
| 12.00~13.00 | 昼 食 | | |
| 13.00~14.15 | (特別講演) 新潟地震について | 建設省建築研 | 大崎順彦 |
| 14.15~14.40 | (3) 新潟地震後の2, 3の橋梁における微振動測定結果について | 京都大学 | ○後藤尚男・山田善一・秋吉卓 |
| 14.40~15.05 | (4) 新潟地震による港湾の被害 | 運輸省港湾局 | 篠原登美雄・運輸省港湾技研 倉田進・○林 聡・久保浩一・宮島信雄 |
| 15.05~15.30 | (5) 地震動による構造物の振動について | 東京大学 | 金井清 |
| 15.30~15.55 | (6) 土質構造物の常時微動観測について | 東北大学 | 河上房義・○浅田秋江・柳沢栄司 |
| 15.55~16.30 | (3)~(6) 討 議 | | |

第2日10月6日(火)

- | | | | |
|-------------|-------------------------------|--------------------|----------------------------------|
| 9.30~9.55 | (7) 発破による建物の振動性状について | 神戸大学 | 畑中元弘 |
| 9.55~10.20 | (8) 土ダムの地震時振動性状 | 東大生産技研 | ○岡本舜三・東北大学 河上房義・東大生産技研 伯野元彦・加藤勝行 |
| 10.20~10.45 | (9) 新葛飾橋の耐震実験 | 建設省土木研 | 高田孝信・栗林栄一・○岩崎敏男 |
| 10.45~11.00 | (7)~(9) 討 議 | | |
| 11.00~11.30 | (特別講演) 新潟地震について | 国鉄道技研 | 斎藤迪孝 |
| 11.30~12.00 | (特別講演) 新潟地震について | 建設省土木研 | 福岡正巳 |
| 12.00~13.00 | 昼 食 | | |
| 13.00~13.25 | (10) ダムに近接した取水塔の振動 | 九州大学 | 小坪清真 |
| 13.25~13.50 | (11) 水中橋脚に働く非定常動水圧 | 京都大学 | 後藤尚男・○土岐憲三・横山康夫 |
| 13.50~14.15 | (12) 翼壁式井筒の水平抵抗に関する模型実験的研究 | 阪神高速道路公団 | 野口勇二郎・京都大学 後藤尚男 |
| 14.15~14.40 | (13) 翼壁式井筒とその水平抵抗に関する現地試験について | 阪神高速道路公団 | 中川 弘・京都大学 ○西川恭弥 |
| 14.40~15.05 | (14) 鋼杭棧橋の振動性状に関する研究 | 運輸省第2港建 | 山本隆一・運輸省港湾技研 宮島信雄・○山下生比古 |
| 15.05~15.40 | (10)~(14) 討 議 | | |
| 15.40~16.05 | (15) 耐震構造設計研究委員会報告(国鉄委託研究) | 土木学会耐震構造設計研究委員会幹事長 | 久保慶三郎 |
| 16.05~16.10 | 閉会挨拶 | | 那須信治 |

4. 講演概要：300円 B5判 50ページ程度 必要の方は学会あてお申込み下さればお送りします。

5. 懇親会：第1日(10月5日)の終了後下記により懇親会を開催します。ご希望の方は当日会場で受付けますのでお申込み下さい。

時 刻：17.00時から
場 所：土木学会会議室
会 費：500円(当日受付けます)

“岩の力学” 国内シンポジウム (1964)

開催について

土木学会岩盤力学委員会では今年度は毎年行なっております岩盤力学に関するシンポジウムにかえて、標題のシンポジウムを共催で開催いたしますのでふるってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期 日：1964年11月11日(水)、12日(木)の両日
2. 場 所：東京・有楽町・毎日ホール(毎日新聞社内)
3. 共 催：土木学会・日本鉱業会・土質工学会・日本材料学会
4. 参加費：1,000円(講演集代をふくむ)
5. 申込方法：(1)官製はがきに氏名、年令、通信先、勤務先をご明記のうえ**10月15日**までに必着のよう土木学会宛お申込み下さい。
 (2)定員がありますのでお申込みを受理いたしましたところで共催学会で連絡のうえ、参加可能な場合には締切期日後10日以内に受理通知を差し上げますからそれにより参加費をお払込み下さい。
 (お申込みなしの当日参加はご遠慮下さい)
 (3)参加費を収納いたしましたならば折返し参加証をお送り致します。
6. 懇親会：11月11日(水)の夜懇親会を開催する予定です(参加費700円程度)。参加希望者はお申込みに併記してお申下さい。
7. 講演時間、題目および講師：

第1日 11月11日(水)

9.00~9.15	開会のことば	東京大学工学部 鈴木 光
9.15~9.55	(1)各種静荷重速度下における岩石の力学的挙動について	東北大学工学部 掘野 富男・○小林 良二
9.55~10.35	(2)「岩の力学」の観点からみた岩力爆破の諸問題	京都大学工学部 ○伊藤 一郎・寺田 学・佐々 宏一
	休 憩 (10分)	
10.45~11.25	(3)地下空洞周辺の岩盤内の応力について	京都大学工学部 ○平松 良雄・岡 行俊 名古屋大学工学部 川本 脈万 熊本大学工学部 兼重 修
11.25~12.00	(4)(1)~(3)に対する討議	
12.00~13.00	昼 食 (60分)	
13.00~13.40	(5)基礎の問題、とくに岩力の塑性に関連する問題について	京都大学工学部 横山 次郎
13.40~14.20	(6)黒部川第4ダム地点の岩盤試験と基盤内の浸透流に関する実験的研究	関西電力 野瀬 正徳・○大長 昭雄
14.20~15.00	(7)岩盤の破壊特性に関する現地試験について	電力中央研究所 君 島 博 次
15.00~15.10	休 憩 (10分)	
15.10~15.50	(8)岩石の破壊音の測定	資源技術研究所 佐々木和郎・○高多 明
15.50~16.30	(9)岩盤の変形特性に関する現地試験	建設省土木研究所 ○芥川 真知・飯田 隆一
16.30~17.00	(10)(6)~(9)に対する討議	

第2日 11月12日(木)

9.00~9.40	(11)新丹那トンネルにおける地圧測定と設計施工に対する貢献	国鉄鉄道技術研究所 ○高橋 彦治・飯塚 全
9.40~10.20	(12)岩盤注入について	国鉄鉄道技術研究所 橋 口 芳 朗
10.20~10.50	(13)(11)(12)に対する討議	
10.50~11.00	休 憩 (10分)	
11.00~11.40	(14)土木界における岩盤力学研究の動向	電力中央研究所 畑 野 正
11.40~12.40	昼 食 (60分)	
12.40~13.20	(15)鉱山界における岩盤力学研究の動向	東京大学工学部 鈴木 光
13.20~14.00	(16)岩石および粘板岩の吸水に及ぼす影響	京都大学工学部 村 山 郎 朔
14.00~14.10	休 憩 (10分)	
14.10~14.50	(17)岩盤の吸水膨脹について	中央大学工学部 谷 津 榮 寿
14.50~15.30	(18)神戸層(新第三紀層)の性質について	建設省土木研究所 ○吉田 巖・安江 朝光・吉中竜之進
15.30~16.00	(9)(16)~(18)に対する討議	
	休 憩 (10分)	
16.10~16.50	(20)映画「黒部第4ダムの建設」	
16.50~17.00	閉会のことば	

土木学会新刊図書のご案内

学会では去る3月に制定されたトンネル標準示方書についてこのたび解説を作成し、8月27、28日の両日夏期講習会を開催し非常に好評をえました。今回の講習会には解説のほかにトンネル工学シリーズ2の刊行も見ましたのでご一読下さることをおすすめいたします。

トンネル橋標準示方書解説

内 容：第1編 総則／第2編 調査／第3編 設計／第4編 施工
体 裁：A5判 条文9ポ1段組 解説8ポ1段組 128 ページ
定 価：一般：600 円 会員：500 円 送料：50 円

トンネル工学シリーズ 2

最近のトンネル工学——工事の実例と話題——

内 容：■トンネル標準示方書について／加納俊二 ■新丹那トンネルについて／足立貞彦 ■羽田海底トンネルについて／岡
沢 裕・仲田忠夫 ■富士川用導水トンネル工事について／遠藤虎松・高山一郎 ■AN—FO 爆剤とその発破法／下村
弥太郎 ■
体 裁：B5判 8ポ横2段組 図・写真多数 116 ページ
定 価：一般：500 円 会員：400 円 送料：50 円

日本工学会行事案内

(1) 講演会

1. 日 時：1964年9月28日(月) 13.30~15.30
2. 会 場：日本化学会講堂・東京都千代田区神田駿河台1の5 (明治大学大学院裏)
3. 演 題：超高層ビルについて
4. 講 師：武 藤 清 東京大学名誉教授
5. 定 員：200名 来聴歓迎

(2) 第10回見学会

1. 日 時：1964年10月20日(火) 14.00~16.00
2. 見 学 先：運輸省船舶技術研究所 (三鷹市新川 700)
3. 定 員：100名・先着順に参加証をお届けします。
4. 集 合：14.00 までに見学先正門に集合のこと (国鉄中央線吉祥寺駅下車・三鷹または調布駅バスにて15分・上連雀町下車)
5. 申 込 先：はがきに第10回見学会申込と書き、住所・氏名・所属学会名を記入のうえ10月10日までに下記へお申込み下さい。
日本工学会・東京都港区芝琴平町 35 造船協会内 (電話) 502—2049

第 11 回 海岸工学講演会開催

第 11 回海岸工学講演会は、かねて 11 月 26～27 の両日別府市において開催する予定としてお知らせしましたが、11 月 25～26 の 2 日間大分市において開催することに決まりました。今回は講演数 40 編の予定でありますから多数ご参加下さいますようお願いいたします。

1. 講演会：1964 年 11 月 25 日（水）、26 日（木）
2. 会場：農業会館 6 階大ホール（大分市舞鶴町）
3. 講演：40 編の予定
4. 見学会：1964 年 11 月 27 日（金）
 A コース）別府大分両市内 定員 50 名 B コース）別府—阿蘇山—別府 定員 50 名
5. 旅館斡旋：別府の旅館を斡旋します。 A 2 500 円 B 1 500 円
 （どちらも 1 泊 2 食入湯税，奉仕料その他を含む）
6. その他：詳細は次号でお知らせします。

構造物，特に高層長大スパン構造に加わる 外力と構造設計に関する研究発表会論文募集 (第 11 回 橋梁・構造工学研究発表会)

今年度は，下記要項により，標題の研究発表会を開催いたします。論文提出希望者は，ふるってご応募下さい。

1. 共 催：日本学術会議—橋梁・構造工学研究連絡委員会，土木学会，日本建築学会
2. 日 時：1964 年 11 月 27 日（金）
3. 会 場：東 京
4. 募集規定：
 - (1) 論文内容：前年度本研究発表会に引き続き，近年注目をあびつつある，高層ならびに長大スパン構造につき，それらに働らく外力とその構造設計に関する研究
 - (2) 申込方法：9 月 30 日（水）締切，B 5 判適宜用紙，1 枚に論文題目，研究者氏名（共同研究の場合は講演者に○印を付ける），所属学会，勤務先，職名，西暦生年月日，連絡先を記し，下記原稿を添えて申込んで下さい（両学会会員以外は土木学会に）。
 - (3) 原 稿：400 字詰原稿用紙 24 枚以内（図表，写真を含む）
 - (4) 採 否：日本学術会議—橋梁・構造工学研究連絡委員会にご一任下さい。
 - (5) その他：発表会終了後，適宜論文を指名，欧文原稿の提出を依頼し，海外に配布する予定。

第 9 回 水理講演会講演募集

第 9 回水理講演会は，来年 2 月，東京において開催されます。講演ご希望の方はつぎの要領によりふるってご応募下さい。

1. 日 程：1965 年 2 月 12 日（金），13 日（土）
2. 会 場：東京（未定，決定次第報告にておしらせします）
3. 内 容：講演会およびセミナー
4. 形 式：講演会は従来通り課題による講演発表とし，これに一般報告形式を加味する予定，セミナーの課題は「河川災害の予知」とし，指定された担当者の作成せる資料を当日配布する。
5. 講演会 課 題：a) 開水路の不定流
 b) 水理構造物に関する流れの問題

o) その他(自由)

6. 講演申込期日: 1964年10月20日(火)
7. 講演集原稿締切: 1964年11月16日(月)
8. 講演原稿: 1題目につきオフセット印刷用原稿用紙6枚(1枚は1480字詰, 図表, 写真をふくむ)以内を厳守して下さい。題目申込み次第所定の原稿用紙をお送りします。原稿通りにタイプで打ち直しますので, 図面, 写真は別添として, 原稿中のそう入箇所に必要な余白をあけて下さい。図面および複雑な表はトレーシングペーパーに必ずスミ入れて下さい。
9. 申込先: 東京都新宿区四谷一丁目 土木学会水理委員会係

クイ打ち作業標準説明会開催

昭和39年3月5日付でJIS A 7201「遠心力鉄筋コンクリートクイのクイ打ち作業標準」が制定されたのを機会に標記の説明会が, 工業技術院・コンクリートポールパイル協会主催, ほか関係団体の協賛によりつぎのとおり開催されますので多数ご参加下さい。

1. 日時・場所: 1964年9月17日(木) 札幌会場: 自治会館
1964年9月29日(火) 名古屋会場: 名古屋市公会堂
2. 講師および演題:

<ol style="list-style-type: none"> ① 日本工業規格 ② コンクリートクイの性質 ③ クイ打ち作業標準 ④ クイ基礎 ⑤ クイの支持力 ⑥ 建築基礎とクイ打ち 	<table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">工業技術院標準部</td> <td style="width: 50%;">木下 亨</td> </tr> <tr> <td>小野田セメントKK中央研究所</td> <td>杉木 六郎</td> </tr> <tr> <td>大同コンクリート工業KK</td> <td>綾 亀一</td> </tr> <tr> <td>KK竹中工務店技術研究所</td> <td>遠藤 正明</td> </tr> <tr> <td>北海道開発局土木研究所</td> <td>宮川 勇 (札幌のみ)</td> </tr> <tr> <td>建設省中部地方建設局</td> <td>橋本 敏秀 (名古屋のみ)</td> </tr> </table>	工業技術院標準部	木下 亨	小野田セメントKK中央研究所	杉木 六郎	大同コンクリート工業KK	綾 亀一	KK竹中工務店技術研究所	遠藤 正明	北海道開発局土木研究所	宮川 勇 (札幌のみ)	建設省中部地方建設局	橋本 敏秀 (名古屋のみ)
工業技術院標準部	木下 亨												
小野田セメントKK中央研究所	杉木 六郎												
大同コンクリート工業KK	綾 亀一												
KK竹中工務店技術研究所	遠藤 正明												
北海道開発局土木研究所	宮川 勇 (札幌のみ)												
建設省中部地方建設局	橋本 敏秀 (名古屋のみ)												
3. 聴講予定人員: 札幌会場 300名
名古屋会場 700名
4. 申込先: 札幌会場 札幌市北2条西2丁目
北海道コンクリート工業KK内 コンクリートポールパイル協会
名古屋会場 東京都中央区銀座4の5
三福ビル7階 コンクリートポールパイル協会
5. その他: 聴講無料・なお, テキストは300円で用意してありますので上記へ申込先へご連絡下さい。

構造用軽量コンクリート シンポジウム開催について

日本 A.C.I. では先にお知らせしましたように標記のシンポジウムを開催いたします。講演申込みは去る6月30日に締切り目下シンポジウム委員会にて集まった申込みを整理中ですが, 日時・場所・その他が下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

1. 日時: 1964年11月26日(木) 9.30より
2. 場所: 発明会館ホール 東京都港区芝西久保明舟町17
(大蔵省印刷局向い側)
3. 論文提出者:
 - (1) 論文提出をお願いする方には8月上旬にご連絡致します。
 - (2) 論文は送付の所定の用紙(1400字詰)4枚までを原則としますが, 特に希望の方は2枚まで追加できます。
 - (3) 論文提出期限は9月30日(厳守)に変更されました。
4. 討論参加者:

(1) 討論参加希望者は 10 月 31 日までに事務局あて申込み下さい。

(2) シンポジウムの論文リストはコンクリート・ジャーナル第 2 巻第 5 号 (10 月 10 日頃発行予定) に掲載します。

5. 一般来聴: シンポジウム当日の一般来聴を歓迎致します。

6. 論文集: 論文集は論文提出者および討論参加者には 11 月上旬までに送付します。ただし、討論参加者には実費をご負担願います。一般来聴者にはご希望により会場で論文集をお頒け致します。そのほか論文集の予約もお受け致します。

参加および予約申込先: 日本 A.C.I. 事務局 東京都中央区日本橋本町 3 の 5 ワカ末ビル ケンメイヤー技術株式会社内
電話 (270) 3067

化学技術賞募集について

日本化学会より化学技術賞受賞候補者について推薦方の依頼がありましたので、本件に関係ある方は 9 月 19 日までに土木学会給務課へご連絡下さい。

第 11 回大河内賞募集について

財団法人 大河内賞候補者推薦方の依頼がありましたので下記要項をご参照のうえ多数ご応募下さい。

- (1) 対象となる業績: ○生産工学に関する研究成果 ○生産技術に関する発明または考案
○多量生産方式の実施上の業績 ○その他本賞に相当と認められる業績
- (2) 受賞者資格: 最近において上記の範囲内ですぐれた業績を上げた個人 (グループの場合も含む)、または事業体。ただしその業績で顕著な他の褒賞を受けていないこと。
注: 顕著な他の褒賞とは例えば文化勲章、学士院賞、本多記念賞、藤原賞、東洋レーヨン科学技術賞、発明協会全国表彰特賞または同程度以上の章もしくは賞を指し、その他の場合は内容による。
- (3) 大河内賞の種類: ①大河内記念賞 (生産工学上すぐれた独創的研究成果をあげ學術の進歩に多大の貢献をした個人またはグループに対する賞)
本賞 賞状 副賞 賞牌および賞金 1 件 100 万円
②大河内記念技術賞 (生産工学の研究を行ないすぐれた発明または考察により産業上に顕著な業績をあげた研究者あるいは研究者グループに対する賞)
本賞 賞状 副賞 賞牌および賞金 1 件 20 万円
③大河内記念生産賞 (生産工学の研究を行ないすぐれた発明または考察により産業上に顕著な業績をあげた事業体に対する賞)
本賞 賞状 副賞 賞牌
- (4) 推薦書: 用紙は土木学会へご請求下さい。
- (5) 締切: 1964 年 10 月 20 日 (火)
- (6) 書類送付先: 東京都新宿区四谷一丁目 土木学会

研究船 (淡青丸) の共同利用研究について

東京大学海洋研究所は全国の海洋研究者の共同利用研究所として昭和 37 年 4 月発足し、38 年 7 月、研究船淡青丸 (258 G・T) が完成し、本年度より共同利用に関する諸規程などが制定され 8 月下旬より実施することになりましたので、詳細は土木学会給務課へご連絡下さい。

第13回レオロジー討論会開催

関係 13 学協会の共催により標記の討論会がつぎのとおり開催されますので多数ご参加下さい。なお、詳細につきましては土木学会事業課へご連絡下さい。

1. 日 時：1964 年 10 月 1 日（木）～ 4 日（日）
2. 会 場：岡山大学法文学部中講堂（岡山駅前より市バス「妙善寺行」乗車，「岡山大学西門」下車約 20 分）
3. 講演内容：34 題・特別講演 7 題
4. 要 旨 集：1 部 500 円 適当な用紙に連絡先を明記のうえ代金を添えて日本材料学会気付第 15 回レオロジー討論会準備委員会（京都市左京市吉田泉殿町 1-101）あてお申込み下さい。予約申込締切 9 月 19 日（土）
5. 懇 親 会：1964 年 10 月 3 日（土）① 会場ニューオカヤマ（岡山駅前）
② 会費 1 000 円 申込締切 9 月 26 日（土）
6. 観 光：1964 年 10 月 4 日（月）順路 岡山発一児島淡水湖一金甲山一倉敷 1.400 頃解散（バス利用）
参加費 500 円 申込締切 9 月 26 日（土）
7. 宿泊所について：直接下記へお申込み下さい。斡旋してくれます。
申込先：岡山市小橋町 169 岡山市旅館協同組合（電 岡山 3 局 8956）
宿泊料：A 2 000 円 B 1 500 円 C 1 000 円（1 泊 2 食付）

北海道支部行事案内

札幌市平岸北海道開発局土木試験所内（電 札幌 83-4191）

（1）秋季見学会

1. 期 日：1964 年 10 月 1 日（木），2 日（金）1 泊 2 日
2. 見学工事：1）1 級国道 38 号線芦別市地内野花南トンネルおよび道路改良工事
2）金山ダム建設工事
3）根室本線金山・東麻越間線路変更工事
4）旭川・浦河線道路改良工事
3. 日 程：第 1 日：札幌合同庁舎前集合・7 時 50 分—出発 8 時 00 分—（1 国 38 号線経由）—野花南トンネル見学—金山ダム着・昼食・見学—白金温泉 1 泊
第 2 日：白金温泉—十勝岳展望台—（1 国 12 号線）—神居古潭着・昼食・札幌帰着 17 時
4. 乗 物：バス
5. 定 員：50 名
6. 参加料：1 500 円
7. 申 込 み：9 月 25 日まで参加料を添えて北海道支部事務局へ早目にお申込み下さい。

（2）研究発表会論文・報文・募集

北海道支部年次研究発表会（2 月下旬予定）に発表の論文または報文をつぎの要領により募集します。

1. 発 表：北海道支部刊技術資料第 21 号に掲載発表する
2. 内 容：土木技術論文・工事報告文
3. 応募方法：応募者は題名・所属・氏名を支部事務局へ口頭またははがきで申込みのこと，ただちに原稿執筆要領・所定の原稿用紙を送付する。
4. 原稿締切：11 月末日
5. 発表者には薄謝を呈し，特にすぐれたものには支部奨励賞（賞状・メダル・賞金）を贈り表彰する。

中 部 支 部 行 事 案 内

名古屋市中区南外堀町6の1 名古屋市土木局道路建設課内(電 名古屋 94-5511)

(1) 技術講座開催について

1. 日 時: 1964年9月25日(金) 13.00より

2. 講演内容:

- ① 舗装概要 北海道開発庁次官 谷 藤 正 三
- ② コンクリート舗装, 路盤 建設省高速道路調査官 高 橋 国一郎
- ③ コンクリート舗装 日本道路公団 岩 間 滋

3. 見学会: 1964年9月20日(土) 名古屋工業大学試験室および市内舗装現場見学

(2) 研究発表会開催について

1. 日 時: 1964年10月15日(木) 9.30より

2. 場 所: 名古屋工業大学土木教室

構造物および力学 第1教室(17題) 交通地質その他 第2教室(18題)

3. 特別講演: 愛知県の土木事業について 愛知県土木部長 北 村 正 之

4. 研究発表題目: ◎は構造物および力学

- ◎1. 本州四国連絡橋について 名大工学部 菊 池 洋 一
- ◎2. 岩盤力学における2, 3の問題点 名大工学部 川 本 眺 万
- 3. 緩流河川感潮部の堤防および堤内地の塩分分布の実態について 名大工学部 西 畑 勇 夫・○野 村 正 徳
- ◎4. bi-linear系のランダム振動の確率統計的考察 名大工学部 中 川 建 治
- ◎5. 広い幅員をもつ2主桁の単純支持合成桁橋の設計例 高田機工KK 若 林 武 志
- ◎6. 主桁よりなる連続合成桁橋の設計例(東名高速道路を対象として) 日立造船KK 吉 田 紀 昭
- ◎7. プレストレス部材の横座屈について 名大工学部 福 本 昶 士
- 8. 荷重を漸増する圧密試験について 岐阜大工学部 角 田 敏 雄・水 谷 重 喜
- 9. マサ土の工学的性質について 岐阜大工学部 角 田 敏 雄・種 部 豊
- ◎10. く形平板のたわみ性状に関する研究 岐阜大工学部 四野宮哲郎・○岡本 尚・佐藤暢彦
- 11. Network flow からみた交通網計画の考え方について 岐阜大工学部 加 藤 晃
- 12. HARP 103 による配水管網の計算について 名 工 大 杉 山 錦 雄
- ◎13. テーパの著しくついているアーチに関する力学的研究(応力, 変形の解析) 名 工 大 松 浦 聖
- ◎14. 2主構型斜め箱桁橋について 名 工 大 中 村 卓 次
- 15. 利水計画における流響はあく 建設省中部地方建設局 毛 渥 卓 郎
- 16. 港新橋について 建設省中部地方建設局 上 条 俊 一 郎
- ◎17. 貧配合コンクリートの実験報告 岐阜工高専 菅 野 一
- ◎18. 連続ばりアーチの Shake down load について ○金沢大工学部 吉 田 博・名大工学部 福 本 昶 士
- 19. 新潟地震の震害調査について(第1報) 名大工学部 市 原 松 平・植 下 協・○近藤昌泰
- ◎20. 各種土圧計の性能実験 名大工学部 市 原 松 平・植 下 協・○古川 清
- ◎21. 鋼薄肉く形断面のねじれ剛度のせん断座屈 名大工学部 島 田 静 雄
- ◎22. 東海, 北陸海岸の波と海岸の波と海岸防護について 名 工 大 細 井 教 授
- 23. 中川運河開門の土圧および応力などの計測調査 名港管理組合 竹 上 義 雄・鈴 村 た かし・道 家 惜 之
- 24. 名古屋都市高速道路の計画について 愛知県土木部計画課 高 橋 裕・○月 森 洋 司
- 25. 愛知県の道路網計画について 愛知県土木部道路建設課 石 塚 正 敬
- 26. ソイルセメント混合物の初期性状について 金沢大工学部 松 尾 剛
- 27. 衝撃落錘をうける土の強度の一実験 金沢大 西 田 義 親・○熊谷組 西 野 良 生・鹿 島 建 設 日 中 一 男
- ◎28. 電子計算機によるトラス橋の経済設計について ○金沢大工学部 小 堀 為 雄・吉 田 博
- 29. 仏師ヶ野えん堤の水利模型実験 金沢大工学部 高 橋 敏 郎
- 30. 砂床砂礫の粒度分布に関する研究 名大工学部 足 立 昭 平
- ◎31. 電子計算機の構造解析および設計における応用についての展望一特に欧米諸国の応用例について一 名大工学部 成 岡 昌 夫
- 32. 建設工事の計画学的管理の手法について 名大工学部 毛 利 正 光・川 西 勲
- ◎33. 黄金こ線橋について 名古屋市土木局

- | | | |
|----------------------------|---------------------|---------|
| 34. 有機質火山灰土の工学的特性について | 名 工 大 | 越 賀 正 隆 |
| 35. 木まくら木内部の犬くぎによる反力分布について | 岐 阜 工 高 専 | 渡 辺 卓 郎 |
| 36. 名古屋港高潮防波堤基礎地盤の強度増加について | 運 輸 省 第 五 港 湾 建 設 局 | 奥 村 樹 郎 |
| 37. 港湾工事における開げき水圧測定について | 運 輸 省 第 五 港 湾 建 設 局 | 宇 野 俊 泰 |

関 西 支 部 行 事 案 内

(大阪市天王寺区堀越町110番地 天王寺ステーションビル4階)
電 大 阪 (716) 7881 番 内 線 336 番, 振替口座大阪 82599 番)

奈良県における総合開発の諸問題についての講演会

共 催：奈良県建設技術協会・土木学会関西支部

1. 日 時：1964年10月9日(金)13時～17時
2. 場 所：奈良市庁別館 電 奈良(2)0004
奈良市東寺林町 市内循環バス県庁前下車南方約400m・猿沢池東側道路南約200m
3. 題 目 と 講 師：

13.10～13.50 ① 奈良県総合開発の構想	奈良県土木部長	吉 村 貞 次
14.00～14.40 ② 近畿の水問題について	近畿地建企画室長	川 崎 精 一
15.00～15.50 ③ 名阪国道建設について	近畿地建奈良国道工事々務所長	倉 橋 天 鏊 彦
4. 映 画：16.00～17.00
① 偉大なる建設(東京タワー)16mm カラー ② 新生駒隧道 16mm カラー
5. 聴 講：無料, 来聴歓迎(ただし, 聴講希望者ははがきで下記申込先へ申込むこと)
6. 定 員：600名
7. 懇 親 会：10月9日 17.30～18.30 春日野荘 電 奈良(2)3211 奈良市片原町春日神社鳥居南約300m
定員50名, 参加費800円
懇親会参加希望者は1964年9月25日(金)までに勤務先, 連絡先, 氏名を記入のうえ参加費800円を添えて下記へ申し込んで下さい。参加証をお送りいたします。納入された代金は返戻いたしません。

申 込 先 奈良市登大路町 奈良県土木部河川課内講演会係 電 奈良(2)1101

■ 関西支部テキスト頒分について ■

水理公式集の解説と例題	体裁：B5判	211頁	頒価 500円	送料 100円
建設工事と高分子材料	” : ”	115頁	” 400円	” 60円
構 造 工 学	” : ”	197頁	” 350円	” 100円
水 資 源	” : ”	151頁	” 350円	” 80円
都市環境衛生	” : ”	130頁	” 350円	” 70円
溶 接 構 造	” : ”	113頁	” 350円	” 70円
セメント コンクリート	” : ”	135頁	” 300円	” 80円
海岸工学の最近の進歩	” : ”	217頁	” 400円	” 110円
高速度計算機の土木工学への応用	” : ”	153頁	” 300円	” 80円
道 路 工 学	” : ”	164頁	” 300円	” 90円
最近の交通問題とその対策	” : ”	153頁	” 250円	” 110円
衛 生 工 学	” : ”	131頁	” 200円	” 80円
第18回年次学術講演概要第I部門	” : ”	188頁	” 350円	送料学会負担
” 第II部門	” : ”	240頁	” 400円	”
” 第III部門	” : ”	132頁	” 250円	”
” 第IV部門	” : ”	180頁	” 300円	”

上記テキストご希望の方は代金に送料を添えて土木学会関西支部(振替口座利用)または土木学会本部へお申し込み下さい。